

胸痛の原因となる病気

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



こんにちは、胸の痛み（胸痛）は心臓病をはじめとするさまざまな病気が原因でおこります。誰もが胸が痛むと不安になるものですが、症状の起こり方からある程度見分けることができます。

胸痛の原因として多く、また重要なものとして狭心症があります。「胸が締め付けられる」「圧迫される」といった症状が、胸部の広い範囲に5分間前後続くのが特徴です。人によっては左肩から腕に痛みが及ぶ場合や、首や歯の痛みを伴うこともあります。急性心筋梗塞の場合は、より強い症状が数十分以上持続します。

また胸部大動脈瘤破裂や急性大動脈解離が起これば、突然、胸や背中に激的な痛みが生じ、放置すると血圧低下や突然死につながることもあります。近年エコノミークラス症候群として知られるようになった急性肺血栓塞栓症では、飛行機に乗ったり、手術後等でじっとしていた後に突然の胸痛や呼吸困難を生じます。そのほか急性心膜炎や急性心筋炎は、風邪のような症状の後に胸痛が起こります。この場合、息を吸うと痛みが強くなるのが特徴です。

心臓病以外にも胸痛の原因となる病気があります。呼吸器の病気として、肺炎、気管支炎、胸膜炎があり、これらは発熱を伴います。また肺に穴が開く気胸という病気は痩せ形の男性に多くみられます。消化器の病気としては食道炎、胃潰瘍、胆石・胆のう炎、急性膵炎等があげられます。内臓以外の病気としては帯状疱疹や肋間神経痛、肩こり、心臓神経症等も胸痛をおこすことがあります。

胸痛も原因により放置して構わないものや、命にかかわるものまでさまざまです。胸部レントゲンや心電図、採血等の検査を行うことにより、原因を絞り込んでいくことができますので、かかりつけの先生に相談されて下さい。特に激しい胸痛や繰り返す胸痛があれば早期の専門医の受診をお勧めします。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000